

授業科目名	助産診断・技術学 (2300266)		
時間割名	助産診断・技術学 (70226)		
時間割担当	服部 律子		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

この科目では、産褥期・新生児期の母子と家族への助産実践の基本となる助産診断と助産援助について学びます。

学習の到達目標

1. 産褥期の助産診断の視点とアセスメントツールについて説明できる。
2. 産褥期の正常逸脱のリスクとその徴候、発生時の対処法と予防方法を説明できる。
3. 新生児期の助産診断の視点とアセスメントツールについて説明できる。
4. 新生児期の正常逸脱のリスクとその徴候、発生時の対処法と予防方法を説明できる。
5. 産褥期・新生児期の助産診断過程と助産計画の立案のプロセスを、紙上事例を用いて展開できる。

授業方法・形式

講義と演習

授業計画

- 第1回 産褥期、新生児期の助産過程
- 第2回 産褥期の助産診断
助産診断の視点、アセスメントツール
- 第3回 産褥期の助産診断技術
褥婦の健康診査技術
- 第4回 産褥期の正常逸脱
産褥期の正常逸脱のリスク、徴候、対処
- 第5回 産褥期の助産ケア1
産褥体操、産後の生活
- 第6回 産褥期の助産ケア2
産後の家族計画
- 第7回 産後の助産ケア3
乳房ケア、母乳育児支援
- 第8回 産褥期の助産過程（事例演習）
- 第9回 新生児期の助産診断
助産診断の視点、アセスメントツール
- 第10回 新生児の助産診断技術
新生児の健康診査技術、成熟徴候
- 第11回 新生児期の正常逸脱
新生児の蘇生法
- 第12回 新生児期の助産ケア1
環境整備、保清技術
- 第13回 新生児期の助産ケア2
育児指導
- 第14回 新生児期の助産過程（事例演習）
- 第15回 まとめ

成績評価の基準

定期試験80%、課題20%

準備学習・復習及び授業時間外の課題

各回の授業のテーマについて、母性看護学、母性看護学援助論、母性看護学実習、周産期医学など、関連する既習科目で学んだことを整理して授業に臨んでください。
各授業後にはその学習内容を復習し、最低1つの質問を考えてきてください。

履修上のアドバイス及び留意点

授業で学んだことを、実習で使えるよう整理しながら学習を進めていきましょう。各回の授業で学習した内容から、実習で使用できる「実習ノート」を作成しましょう。

教材・教科書

我部山キヨ子編、助産学講座7 助産診断・技術学 [2]分娩期・産褥期、医学書院
横尾京子編、助産学講座8 助産診断・技術学 [3]新生児期・乳幼児期、医学書院

参考書

必要に応じて、適宜、提示する。